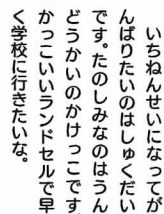
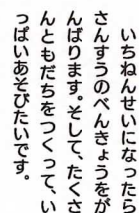
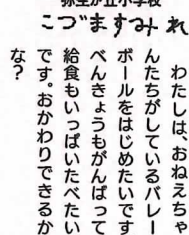




佐賀県
PTA
新聞

語り合おう！
「家庭の日」
(毎月第二日曜日)



ランドセル



ぼくは将来、捨てられた動物たちを保護する人になりたいです。ぼくは、生き物が大好きで、小学校では、生き物のお世話をがんばってきました。水槽の生き物が弱ってしまったとすぐ心配でした。また、「捨て犬未生」という本を読んでこの仕事にしたいと思いました。動物は小さいころは、かわいいというて飼われるけど、大きくなったら人間の都合で捨てられて殺処分されるのがふえています。ぼくはこんな動物を救う人になりたいです。そのため中学校でも生き物の世話をがんばり、生き物を大事にするという気持ちを持ち続けていきたいです。

東陵中学校
中島 周作

ぼくは、この六年間をふり返って成長したと思います。なぜかという、いろいろなことに挑戦したり、昔はぜんぜん発表できなかったけど、今では何回でも発表するようになったからです。そして、挑戦や発表をしていくと、目標が達成することがわかりました。なぜかと言うと、ぼくが実際に泳ぎだすと、二十五メートル泳ぐなどの目標ができたからです。ぼくは、まだ中学校での目標は、できていないけど挑戦などをして、自分の目標を作っていきたいなと思いました。

中原中学校
原 歩夢

中学校では、日々の生活をより充実したものにするために、私は高い目標をもって勉強や部活動に励んでいきたいと思っています。また、体育大会や合唱コンクール、職場体験などの行事にも積極的に取り組んでいきたいです。そして、三年後には、先輩方が築いてくれた素晴らしい伝統を引き継ぎ、伝えることができる人に成長していきたいと思っています。そのために、これからの三年間、様々なことに自分からチャレンジし、先生や先輩、友達の力を借りながら、人としての力を高められるよう、努力していきたいです。

武雄中学校
森 朱璃

ぼくは、中学校でがんばりたいことが三つあります。一つ目は、勉強です。中学校では、勉強が難しくなり、テストの量が増えるので、授業についていけるようにします。二つ目は、部活動です。ぼくは小学四年生から野球部に入っています。中学校からはボールの種類の変わるので早く慣れるようにがんばります。三つ目は、二期ブロックでの役割です。吉田小、中学校では小中貫教育で二ブロックに分かれています。中一は二期(小五・中二)のリーダーなので、ブロック集会の進行などをつかりしていきます。

吉田中学校
田島 大輔

ぼくは中学生になったら、色々な所で「新しいはじまること」を頑張ろうと思います。勉強の面ではこれまでの授業に加えて、技術、英語などが始まります。その中で僕は英語を頑張ろうと思います。英語では暗記も必要だと考えるので、毎日復習をしようと思います。そして、部活も始まります。ぼくは運動部に入ろうという事しか決めていませんが、練習をしんげんに取り組むという事を大切にしていきたいと思っています。小学部と違う事もあります。早く中学部に慣れ、楽しい生活をおくりたいです。

中央校
中尾 幸太

私が中学生になったらがんばりたいことは勉強です。中学生になると教科の数が増えるし、テストの順位も出るで、小学校生活の六年間で学んだことを生かして、テストで良い点がとれるように、がんばりたいです。次にがんばりたいことは部活動です。部活動は何にやるかまだ決めていませんが、自分が三年間続けるつもりで入部するので、責任をもって楽しみながら真剣に取り組んでいきたいです。勉強と部活動を両立させるために早起き、早起きを心がけて規則正しい生活をして、楽しい中学校生活を送っていきたいです。

千代田中学校
古川 真麻

大きな目標へ 向かってGO!

てくると思います。悲しい事やつらい事色々あると思うけど、そんな時は、一人で悩まずに先生や友達、お父さん、お母さんがいます。相談して下さい。答えは、きっと見つかるはずですよ。

中学校三年間、皆が笑顔で学校の門を通る姿を、願っています。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。中学生になると、勉強はもう一つとなり新しい仲間との三年間の中学校生活が始まります。新しい仲間と部活動や色々な活動など、小学校ではなかった新しい活動を経験することになるでしょう。小学校の時とは違った悩みがたくさん出てくると思います。

三日月中学校
江口 昭彦

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。小学校三年間、一つとなり新しい仲間との三年間の中学校生活が始まります。新しい仲間と部活動や色々な活動など、小学校ではなかった新しい活動を経験することになるでしょう。小学校の時とは違った悩みがたくさん出てくると思います。家族や先生や友達みんながあなたを応援しています。笑顔を忘れず、自分を信じて頑張ってください。

浜小学校
松尾 賢一

新入生のみなさん、入学おめでとうございます。中学校での新しい生活に期待と不安がいっぱいのことでしょう。中学校の三年間は小学校の六年間と違って、あつこの三年間は、心も体も大きく成長する時期です。スポーツや勉強に自分の力を発揮できるような努力してください。新しい出会いもたくさんあります。気の合う友達もできるでしょう。楽しい時間が過ぎると思います。しかし様々な悩みも出てくるかもしれません。そんなときは一人で悩まずに相談してください。私達はいつでもあなたの味方です。応援しています。

玉島小学校
草野 秀典

中学校新入生の皆さん、入学おめでとうございます。中学校生活は三年間しかありませんが、将来に大きく影響する三年間です。今までと異なる生活環境の中、そこで出会う新たな人との関係や、物事へのチャレンジなどは自分の可能性を広げる大きなチャンスです。これから社会は大きく変化していきます。価値観の多様化に伴い、それを受け入れ尊重しあえる他者との関係性を育てていってください。そして、「自律」を心がけて勉強や部活動、日々の生活を丁寧に過ごしましょう。皆さんの成長を応援しています。

白石中学校
高岸 宗範

この春新中学生となる皆さん、ご入学おめでとうございます。さて、中学校では部活動が盛んです。サッカーや野球といった競技ごとに、また吹奏楽部のようにジャンルごとに、希望する者が集まって切磋琢磨し、所属する仲間と技術を磨き、団結力を高め、力をつけ、他校と競い合った結果、地区から県や全国大会への出場機会が膨らんでいくと最高ですね。もっとも勝ち続けるより、負けてしまうことが多いの、これまた人生。そうした夢を追いかける中で、かけがえのない友や恩師と巡り合い、心豊かな人生の礎の時を送ってください。

鳥栖西中学校
江副 康成

新中学生の皆さん、入学おめでとうございます。中学校三年間は、心も体も大きく成長する時です。勉強・スポーツ・友達作りといろんな事にチャレンジして下さい。又悩んだ時は絶対に一人で悩まない事です。両親・先生・友人に相談して下さい。小さな目標を立て少しずつ達成して行く、半歩ずつでもいい、前進あるのみです。笑顔と感謝・思いやりの心を持つ人間に成長して欲しいと願っています。自分を信じて、日々精進して下さい。これからの中学生生活を応援しています。

西有田中学校
岩永真求子

日本PTA国内研修事業

(沖縄県島尻郡渡嘉敷島村)

平成29年3月26日(日)～30日(木)

渡嘉敷島で知った事



中原中学校
新 美優

今回、沖縄の渡嘉敷島を訪れて村の人達と触れ合い沖縄の文化や歴史について知る事ができました。

研修に行く前は、全国から来る他の人達を仲良くできるかな不安でしたが、皆優しくすぐに打ちとける事ができました。

平和学習では、沖縄戦の現実や渡嘉敷島の集団自決などの悲惨な出来事についてお話を伺い、

人の和を大切に



鬼塚中学校
波多野 慧

僕は、今回のPTA国内研修で平和の尊さや、自然の雄大さなど多くのことを学びました。その中で特に僕が強く感じたことがあり

ます。それは「人の和」です。今回の研修では、全二班で一班十人前後に分かれ活動しました。各班ごとにリーダーはいるのですが、基本は班の仲間と話し合い、自分で考え行動しなければなりません。野外炊事するとき、僕が枯れ枝を集めるのを手伝ってました。そのため、僕は火起こしが他の班より遅れてしまいました。しかし班の仲間達が手伝ってくれたことにより、時間内にカレーを作り終えることができ、他の人達からも「おいしー」など賞賛してもらえました。協力してくれた班のみんなには感謝しなければいけません。協力して行きたいと思

います。二度と戦争は起こしてはいけな

いと強く思いました。海洋研修では、透明度の高い美しい渡嘉敷島の海で、シュノーケリングなどを体験し、沖縄の自然と触れ合う事ができました。野外炊事は、班の皆と協力して、役割分担などを決めて、おいしいカレーを作る事ができました。私は、この五日間でたくさん

の思い出を作ることができ、皆とも絆を深める事ができました。知識も深める事もでき、この研修で知った事を無駄にしないように、決められた目標と共に、これからも頑張っていきたいと思

います。これらの体験からも、「人の和」は欠かせないものだと思います。僕が思う「人の和」の柱となるのは、相互理解と助け合い

です。一つ目の「相互理解」は、互いが互いを理解することです。僕は最初知らない人達同士で戸惑うことも多々ありましたが、お互いのことを話したり聞いたりするうちに、少しずつ打ち解けて行きました。そして、互いを理解し合うことにより、その後の活動もスムーズに行きました。

二つ目は「助け合い」です。一人が失敗しても仲間との助け合いがあれば挽回することがあります。今回もそうなのですが、災害に遭ったとき、お互いの助け合いがあれば多くの命を救うことができる

と思ったからです。どのようなときでも、「人の和」は大切だと思えます。「人の和」それは、違う環境や違う地域に住む人々が手を環り合い、互いが笑み合いながら一緒に歩んで行くことです。この研修を通して、「人の和」をこれからもずっと大切にして行きたいと思

第38回 佐賀県PTA連合会 新聞コンクール審査講評



佐賀新聞社
編集局長
澤野 善文

審査を担当するようになって三年。毎回、感じていることですが、出品された新聞はどれも出来栄がよく、制作された保護者の努力や工夫がうかがえるものばかりでした。予選を突破した十作品を選ぶことは大変な作業となりましたが、そこからの最終審査はさらに困難を極めました。今回は最後までつれづれ、最優秀賞に小学部の松浦小学校(伊万里市)の「まつなみ」が選ばれました。

出品は小学部十一校、中学部十一校。最終審査は佐賀県PTA連合会の倉光健二会長はじめ広報委員会、新聞編集委員会のメンバーら二十一人で選考に当たりました。一人ひとりが作品五点を評価し、その合計点で競いましたが、小中学校とも最優秀と優秀賞はわずか一点の僅

差でした。小学部の最高賞に輝いた「まつなみ」は卒業生特集号を出品。新入学時と卒業時の顔写真を並べて掲載するとともに、本人の思い出や保護者からの感想も短文で紹介し、六年間の成長の様子をさまざまな角度から表現しています。六年間の写真グラフィックも目を引きました。

中学最高賞の「ふじ」は、熊本地震をきっかけに防災意識の必要性を考える特集が高い評価を受けました。災害時の備えや避難、集合場所の確認などをアンケートをもとに提示。非常食の種類や、人が生きるために一日どのくらいの水が必要なのかをクイズ形式で紹介、地震の衝撃さや発生から半年というタイミングでまとめているという。選から漏れた作品にもキラリと光る提言や、特集を組むなど、今年も見え、読み応えのある新聞が届きました。そんな中、一つお願いがあります。写真を全面に押し出したレイアウトの

新聞も散見されました。それはそれでビジュアルで楽しい新聞になりますが、一方で文章できちんと伝える努力も続けてほしいと思います。というのも文章は編集者の感情が表れ、写真とは違う味わいを持った紙面ができあがるはず。いづれにしても学校と保護者、地域を結ぶPTA新聞は、子どもたちの成長をみんなで見守っていくための貴重なアイテムです。編集委員のみならず、これから子どもたちの思いに寄り添った新聞づくりをよりよくお願いします。

受賞おめでとうございます

小学校の部

最優秀賞

「まつなみ」

松浦小

優秀賞

「なかばる」

中原小

「しいの実」

有田中部小

「鼓岳」

大川小

努力賞

「ときわ」

橘小

「古城」

北鹿島小

「かけはし」

中川副小

「とどろき」

轟小

「そだち」

北波多小

「TASHIRO」

田代小

中学校の部

最優秀賞

「ふじ」

嬉野中

優秀賞

「かささぎ」

江北中

「こうほう」

高峰中

努力賞

「やまなみ」

田代中

「くにみ」

国見中

「あおざり」

有田中

「若鮎Wakaayu」

浜玉中

「西溪」

西溪校

「つばさ」

北方中

「啓成」

啓成中

少年自然の家で、残そう仲間との思い出 育てよう丈夫な体と豊かな心。



佐賀県波戸岬少年自然の家
TEL:0955-82-5507 FAX:0955-51-1036



佐賀県黒髪少年自然の家
TEL:0954-45-2170 FAX:0954-45-2137

県内には、山や高原、海に面した少年自然の家があります。少年自然の家は、ご利用の団体に応じた活動ができる宿泊施設です。各学校の自然体験・宿泊学習、子ども団体の自然体験、キャンプはもちろん、小・中・高等学校のスポーツや音楽団体などの練習や合宿、研修に最適な施設です。皆さま方のご利用をお待ちしております。

施設利用料 (一泊あたり) / 3歳以上・小・中学生: 100円
高校生・学生 } 210円
教育内活動に係る指導者
上記以外の大人: 430円
食費/朝食: 390円 昼食: 550円 夕食: 700円

「子育ていちばん！」

。親子でがまん 日々前進

な野菜を小さく刻んだり、ペースト状にしてはハンバーグやコロツケなどに混ぜ込んだりと、食べる為の工夫を惜しみません。

だから息子は、お袋の味というよりおばあちゃんの味で育っています。

核家族化でお年寄りの関わりが減りつつある時代の中、息子は日々おばあちゃんと触れ合っています。人に優しく出来る事は、食が繋がってくれているんだと感じます。

母に助けられ母に感謝し
食育を通して親子関係も上
手くいっています。

子育て楽しみ 日々発見

てハグをします。家族がハグで笑顔になります。

そんな子ども達も思春期になり親と衝突する事も増えてきました。長期戦になる事もあります。が、仲直りは必ず「ハグ」をします。時には大泣きしながらだったり、笑顔の時や力強いハグの時もあります。これだけでも想いが伝わります。

親子のコミュニケーションは、とても大切だと思います。忙

い中でもこれだけは続けて
いきたいです。

会長 竹下 繁

東京華合東邦交の

東部校P
上龍賢

東原庫舎(とうげんしゅうしゃ)東部校は、今年度から義務教育学校となります。PTAは、組織としては、平成二十五年四月に小学校二校と中学校一校が合併し小中一貫校として一つの組織となっていましたので、合併後の運営には、特に大きな問題はありませんでした。

東部校PTAは、各学年から執行部・母親部・広報部・教養部・財政部を各一名・父親部を二名

しその中から学年
います。また、各
行政区から地区
評議員を選出し
ていただき、執
行部、専門部と
連携して活動し
てもらい、各部
の特色を出した
活動が行われて
います。

特色ある 単Pの活動

～鳥栖市・多久市編～

Vol. 46

が中心となり、毎年、親子のふれあいが計画されています。ミニ運動会やドッチボール、一緒にお菓子作りをするなど、普段に仕事や家事に追われ、子どもと一緒に過ごす時間がなかなか取れない保護者にとって、有意義

はコマ回し、お手玉等の昔遊び、三年生は風、四年生は縄跳び、五年生はミ、二門松をそれぞれ作製します。そして六年生は白と紫のお餅をつけて全校生徒と地域の皆さんに取りまわす。金曜日の午前中いっぱい、ワイワイガヤガヤ、みんなの笑顔で校内が埋め尽くされます。

本年度第二十回を迎える「麓ふれあい祭り」ですが、そもそもこの事業は地域の有志の方が始められたイベントで、当初は日曜日、公民館等で開催されておりましたが、平日の小学校で開催することが可能になり、教職員の皆さんやPTAも積極的に参画することができるようになりました。例年、地域の方々と

教職員、PTA役員と一いつ実行委員会を立ち上げ、話し合います。この地域の方々と交流させていたべく機会が大変ありがたかったです。話の以外にも、保護者や教職員が気づかない点や、新たなPTA事業のきつかけができています。お話を聞くことができてとても有意義な会議になったと思います。会員だけでなく、たくさんの方々からの意見を取り入れる協力を得ながら活動。これが「麗スタイル」のPTA活動です。

な時間となっています。また、この親子ふれあいを通して、保護者同士が顔見知りになることもあり、貴重な交流の場ともな

七年生から九年生では、広報誌「大志」で中体連に向けた意気込みや、卒業の際に感謝の言葉や将来の夢を掲載します。また、卒業生・先生方の書いた文字を使って連脈あげをするなど、思い出に残る活動も行っています。

小中一貫のPTA組織であるため、各部の人数が多くなり、活発な活動が行える反面、小学校・中学校の垣根を越えての活動となるため、活動内容が多岐

にたれることもありません。そのために役員になると、大変とイメージが先行しがちですが、保護者同士の繋がりが、先生方との関わりなど、役員を経験しなければ得られないものは多々あると感じています。

この経験を、一人でも多くの方々と共有し、よりよい活動が継続できるよう、PTA活動だけでなく、日々の生活のなかでも、保護者同士のネットワークを形成し、活動の輪を広げていくことが必要だと感じています。

佐賀県PTA連合会推薦 小中学生総合保障制度(こども総合保険)について

お子様を取り巻く様々なリスクに対応します。

- 他人にケガを負わせたり、他人のものを壊したりして法律上の損害賠償責任が生じた場合に補償します。所定の条件を満たした場合、借り物の損害も補償します。ご家族の方も対象です。



承認番号 A-000744 2018-03